

カットは河野香代美
さん(深川一丁目)



深川社協だより

ふかわ

第57号

2021.9.1

■ 編集発行 深川地区社会福祉協議会広報部会 ■ 発行人 向井文武



「クリーン太田川」 今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため一斉清掃は取りやめ、7月4日(日)から7月25日(日)の間で深川全自治会が河川清掃に参加しました。写真は7月18日(日)三篠川河川敷のゴミ拾いに参加されたボランティアの皆さん。

深川地区社協からのお知らせ

令和3年度の「敬老会」は
中止いたします

周知のごとく新型コロナウイルス感染症は、なかなか収束をみることのない中、多くの高齢者が集い飲食をとまなう「敬老会」は、「3密(密閉・密集・密接) 状態を避けることができず、予防の観点から、やむなく今年度の「敬老会」は中止とさせていただきます。

皆様のご理解を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

救急医療情報キットについて

キット配布は75歳以上の一人暮らし、75歳以上の二人暮らし、また健康に不安を抱えている家庭に無料配布を令和3年3月より行っています。

聞く所によると、ある家庭では救急医療情報キットにより親族・近親者に連絡ができ、とても助かったということ。安心して暮らすために必要事項を救急情報キットに納め保管されて、万一の時に活用してください。救急車の救急隊員と医療機関との連携に活用します。キットは各地区担当の民生委員または自治会長を通して申込みをしてください。

「いきいきサロン」について

コロナウイルス感染症の拡大がなかなか収まりをみせず、不要不急の外出をしないようにとの要請があり、各地の「サロン」は休止せざるをえない状況が続いております。今後の感染状況をみながら再開できる時期を判断してまいりますので、今しばらくお待ち下さい。

住みよいまちづくり

川端忠男

防犯組合深川支部長
安佐北交通安全協会

深川支部長

日ごろ何気なく過ごしていても「深川に住んでいてよかったね。」と思いたいものですね。

社会福祉協議会はこのような事に思いを募らせ、住みよいまちづくりの一助になるよう活動をしています。

私が担当している活動の一端を紹介します。一つは安全なまちで重要なことは、交通安全ではないでしょうか。

地域に根付いた活動では安佐北交通安全協会深川支部の活動があります。高齢者の交通安全については、交通安全講話、自動車学校での安全運転講習など実施しています。

また小学校児童や中学校生徒達には、交差点、踏切などでの安全な歩行や自転車での安全な通学など多くの実践的な講座を実施しています。一方、



運転者の方々には春・夏・秋・年末と時期に応じて広島県全体に合わせ、交通安全運動として十日間、街頭キャンペーンを行っています。

一年間をみればほんの僅かですが、地域における交通事故防止の一助になればとの思いです。

次に犯罪に巻き込まれないように防犯に力を注いでいるのは、防犯組合深川支部です。深川地区の各自治会には、地区安全推進委員がいます。

最近はコロナ禍で防犯活動は、少なくなっていますが、少年少女の非行化防止のため、たまり場になりやすい場所のパトロールや、スポーツ大会開催への支援、防犯講習の支援などを行っています。

深川の各地域が進めている事業に児童生徒の「安全見守り運動」(8・3運動)があり地域の皆様には登下校時の子ども達の見守りにご協力いただいています。

若い皆様には、諸先輩の活動を今後に向けて受け継いで頂きたいと思えます。

幸せなお年寄りの多くが、明るく楽しんでいる地域こそ、将来の見える安全安心なまちとして皆さんに理解されるでしょう。

深川地区社協役員人事のお知らせ

(令和三年四月)

新任理事の皆さん

理事 才崎敏判 深川学区子ども会育成協議会

理事 橋岡由夫 深川消防団分団長

理事 山口理恵 深川台地区福祉委員

【順不同・敬称略】

なお、この度退任されました皆様には長い間ご苦勞様でございました。今後とも社協の活動にご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

深川の昔

其の四 西塚編

深川郷土史研究会

升尾成美

西塚地区は中深川の西に位置し、昭和の半ば頃まで田や畑の中を通る県道も、今は道の両側に店などが並びにぎやかな商業地域となっています。西の山は団地造成により家が建ち並んでいます。以前は松と雑木の緑の山でした。昔、この山を中深川方面から見るとその姿が亀に似ていたといわれます。それで、頭部分を「亀崎」、真中のあたりを「真亀」と呼ぶようになったと言われています。わずかに残った緑の中にあるのが「亀崎神社」です。この神社は七九六年に勧請されたと伝えられる大変歴史のある神社で、かつては毛利氏と深い関係があり、その祈願神社として崇敬され厚く保護されてきました。江戸時代、藩が高宮郡二三九方所の神社の中で神社として認めていた四社の内の一社であり、深川だけでなく馬木・福田等近隣の村々をも管轄する重要な神社でした。大正時代に陰地神社・尾和神社が合祀されています。

この近くにある「諏訪神社」は、西塚の人々が大切に守りついで来た神社で、西塚を見晴らす高台から人々の暮らしを見守つて来ました。又参道入口に「おどうさん」があります。昔、大洪水で流れ着かれたのをお祀りしたと伝えられており、三篠川の洪水がこのあたりまで及んでいたことが伺えるものです。



亀崎神社

深川の人を
たずねて

昭和・平成・令和と三代にわたり
天皇陛下に料理を供した料理人

小山廣明さん（深川四丁目）

テレビドラマの天皇の料理番ならぬ天皇の料理人が近くに住んでおられるとのこと、小山廣明さん（84歳）をお尋ねしてお話をお伺いしました。「私が料理人として最初に皇族関係の食事を経験したのは昭和36年秋、神武天皇御陵にご参拝された常陸宮殿下のご昼食でした。その後昭和57年、島根県で開催された第37回国民体育大会（夏季大会）にご臨席の当時の皇太子及び妃殿下のお食事。この一ヶ月後、同じく秋季大会にご臨席の昭和天皇陛下、また平成3年10月には島根植樹祭にご臨席の平成の皇太子殿下のお食事を担当させて頂きました。その後も広島や高知で陛下の料理を担当させて頂き、例えば三代の天皇陛下のお食事を作る榮譽に浴することになりました。」———
「いずれの場合も料理長としてご苦勞も多



天皇陛下をお迎える小山さん

かったのではないですか———「色々な意味で大変でしたよ。何しろ宮内庁の大膳課の職員や保健所の職員の監視の中での料理ですから神経を使いました———食材選びなんかもご苦勞があつたのでは———」
「いつの場合も地元の食材を使うようにとの指示がありますし、その場合、産地や生産者名を明らかにする必要がありますがあるんです。」
それに陛下の食事だけではなく、宮内庁の供奉員・随従員の食事、県警の警備の方の食事までも我々の担当ですから———
———料理人の道にお入りになったのはどういう経緯だったのですか———「私は料理の道に入つて約30年間、大阪の料理屋で勉強しました。ある時、師匠の勧めで大阪の厚生年金会館の料理長として就任することになり、それがきっかけで皇室の方々との縁も出来た訳です」
———お仕事をお引退されて、今はどんな日暮らしをしておられるのですか———「定年退職後、私は絵を鑑賞するのが好きで絵の方へ入つていきました。倉掛公民館で水墨画10年、真亀公民館で水彩画6年。その後、運転免許を返納してからは絵は止めて現在はグラウンドゴルフのみですが、それも、もう18年になりますよ」
———一度聞いてみたかったのですが、時にはお家で料理されることがあるんですか———「いやいや、家ではしませんよ、我家には料理人がいますので」
ありがとうございます。いつまでもお元気で活躍されますことを念じております。



大阪天満宮で「四条山陰流」包丁式を奉納する小山さん

取材 牛尾孝慈（民生委員児童委員）

収入の部

○繰越金	1,902,448
○助成金収入	
自治会町内会連合会より	100,000
地区社協運営費	60,000
共同募金実績割金	131,000
福祉のまちづくり総合推進事業	150,000
広報紙助成金	15,000
拠点整備事業	15,000
○寄付金収入	390,000
○負担金収入（敬老会参加者）	100,000
○雑収入（預金利息）	2
収入合計	2,863,450

支出の部

○会費（区社協会費）	101,250
○事務費	195,000
○会議費	20,000
○広報費	100,000
○福祉事業費	
1) 福祉のまちづくり総合推進費	340,000
2) 区社協自主事業費	680,000
○助成金	150,000
（女性会・福寿会・青少協・体協・子供会）	
○予備費	1,277,200
支出合計	2,863,450

令和3年度予算
深川地区社会福祉協議会

過去の被害を忘れまい ～防災意識の高揚のために～

広報ひろしま「市民と市政(7・15号)」に未来につなぐ水害碑の教え～過去が教えてくれること～として市内の洪水、土石流などによる水害の歴史を伝える水害碑が多く建立されていることを伝えていきます。薄れがちになる過去の被害などの記録を読んだり、当時の様子の話を聞いたりして、記憶にとどめておくことの大切さを改めて思いました。そこで昭和40年6月の三篠川流域で生じた水害の様子を「高陽町史」(広島市役所発行)を参考にして述べてみたいと思います。

『…台風崩れの熱帯低気圧が接近した6月18日より雨脚が激しくなりはじめ、北東から南西に延びる前線が三篠川に差し掛かった19日早朝から20日にかけて流域全体にバケツの底を抜いたような豪雨となり、同時に三篠川は急激な増水をはじめ、午前6時から7時にかけて堤防の決壊・越水が相次ぎ…河谷全域が水没してしまつた。…6月19日午前6時半ごろ西法寺裏の左岸堤防2ヶ所が決壊すると同時に濁流が中深川の街中を襲い、さらに芸備線を超えて西塚一帯までも水没させるに至つた。…20日



の中郷は惨澹たる状態であつた。家々の壁は落ち、ガソリンスタンドはひっくり返り、一面に泥と流木が堆積し、深川小学校の教室は泥をかぶつた机が散乱して足の踏み場もないほどであつた。…」

当時、高陽中学校の生徒だつた尾和のNさんは次のように話してくださいました。「…確かな記憶は薄いですが、授業が終わつた午後から、全校生徒が分散して水没した家の後片付けに行きました。私は中深川駅の近くの民家に行きました。友達は小学校に行つたそうです。…」

当時の中国新聞の「切り抜き」が深川社協事務所に残つています。「高陽町 ドロ沼の中 復旧に懸命」「自衛隊や消防団も応援」「被災家で奉仕 高陽中」「伝染病を食い止める 一夜明けた高陽町 早朝からの消毒作業」等々生々しい活字が目飛び込んできます。深川のはザードマップの活用も大切なことです。安全安心に生活するためにも、平素から防災意識を高めた方がいいものです。

山口悦朗(社協広報担当)



訂正とお詫び

「ふかわ」第56号の「民生委員児童委員の役割と活動」の文中で民生委員協力員の小笹和子さん(下庄地区)のお名前が抜けておりました。訂正して深くお詫びいたします。

愛のともじび

深川地区社会福祉協議会に対し、福祉事業の活動にお役立て下さいと、次の方々から香典返し他のご厚志をお寄せいただきました。皆様の善意に厚くお礼申し上げます。

(令和三年一月～令和三年七月)

- 桑迫和弘 (深川七丁目)
- 松浦真知子 (深川三丁目)
- 小島治幸 (深川二丁目)
- 馬場賀津雄 (深川五丁目)
- 福品奈津子 (深川六丁目)
- 匿名希望一名

香典・見舞返し・その他皆様の善意の募金をお寄せ下さい。お寄せいただいた募金は深川地区社会福祉事業の活動に役立てさせていただきます。お礼申し上げます。

【深川地区社会福祉協議会】

深川地区の皆さまへお願い

最近見かけない・夜、灯りがつかない・配布物がたまっているなど、ご近所に気がかりな方はありませんか、もしお気付きになったら、各地区の自治会長・民生委員・地域包括支援センターへご連絡ください。

ご近所の温かな目配り・気配りで、安心して暮らせるまちづくりを!

【安心ネット推進委員会】